

八剣山通信

2011年6月6日発行

八剣山発見隊

ラブアース・クリーンアップ in 八剣山 2011



6月5日（日）、晴天の下で毎年恒例になっている八剣山地域の清掃活動が隊員12名の参加を得て行われました。

発見隊では、2002年の隊の発足当初から清掃活動に取り組んでおり、今年は10回目の活動となります。6年前からは「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」運動と連動して実施しています。北海道実行委員会では、4月から今年度の活動を始めていますが、6月5日には「私たちの北海道を私たちの手で、世界一きれいな場所にしよう」のスローガンの下、大規模な全道一斉ゴミ拾い活動が計画され、当発見隊もこれに呼応して八剣山周辺の美しい環境を保つため実施するものです。

午前10時に砥山ふれあい果樹園に集合し、砥山橋と砥山栄橋方面の二手に分かれて道路沿いを中心にしたゴミ拾いがスタートしました。今年は、道路沿いは毎年のクリーンアップが功を奏したためか比較的ゴミは少なかったものの、砥山橋側の窪みには大量のごみが投棄されていました。古タイヤ、マットレス、石油ストーブ、建物の解体材、コーヒーの空き缶等々、八剣山の美しい自然の中にこうしたゴミを持ち込むのはいったいどのような人々なのかと考えさせられます。

毎年参加している桜井学さんは、「人の心理は不思議なもので、きれいな所には捨てられないけれど、ゴミが散乱して

いる所には次から次へと抵抗なく捨てられるようだ。八剣山周辺の環境を良好に保つためには、この地道な活動を続けることが重要だ」と話していました。



約1時間半のゴミ拾いが終了し、大型のビニール袋10数個をはじめ様々なゴミが集められました。

この後、希望者によって我が発見隊のシンボルである新緑の八剣山登山が行われました。

ラブアース理念

「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」は、地球の未来を考え、自然やかけがえのない地球を愛するためには、まず身近な地域を愛することから始まると考えます。そして、「地域の環境を大切にする心」を誰でも参加できるゴミ拾いで、育み、つなぎ、よりよい北海道の環境を次世代に残していくことを目指しています。北海道初の全道民が主体となる、ゴミ拾いのムーブメントです。一定期間に全道が一斉に同じ活動に同じ思いを持って取り組むことで、道民の連帯感をより一層高め、北海道を道民の手で活性化させるきっかけにもつながります。またこの活動は、市民・行政・企業のコラボレーション(協働)を実現することも目指します。環境を考え、自然を慈しみ、かけがえのない地球を愛し行動することがラブアースと考えます。

NPO 法人 北海道市民環境ネットワーク



【砥山橋の現場1】



【現場2】



【清掃後の現場】



【頂上直下の登山道】



【新緑の登山道】



【山頂にて・初めて上った人も】

発見隊行事予定

- 6月12日 砥山農業小学校(第2回)
- 7月9日 いちごの苗床整理体験
- 7月10日 砥山農業小学校(第3回)
- 7月17日 2011八剣山さくらんぼ祭り

発行:八剣山発見隊(事務局長 瀬戸修一)

〒061-2275 札幌市南区砥山84番地

☎・FAX 011-596-2694

E-mail toyamafureai@gol.com

URL <http://hakkenzan.com/>